



進路の決定に向けて
全力を傾けよう

進路新聞

令和5年12月20日(水) 【第8号】
発行 兵庫県立洲本実業高等学校 進路指導部
〒656-0012 兵庫県洲本市宇山2丁目8番65号
Tel:0799-22-1240 Fax:0799-22-2583

【進学特集】 専門学科推薦や全商推薦を利用しよう！



現在、進学を希望した3年生のほとんどの人が進学先を決定しています。本校では総合型選抜(AO)入試、学校推薦型の指定校推薦入試で受験する人が大半ですが、学科試験の比重が比較的高い専門学科推薦入試や一般公募推薦入試に挑戦する人も少ないながらもいます。今年度は残念ながいまいませんでしたが、これまではその努力が実を結び合格の二文字を手に入れた人もいます。昨年度も国立の徳島大学に合格した先輩がいました。

特に本校のような専門高校では、**専門学科推薦という推薦方式が有利です**。この入試は、工業科や商業科の生徒に特別に設けられた枠の入試です。**普通科の生徒と比べて普通教科の授業数が少ないことを考慮して、入試科目も一般公募の推薦よりも少ない傾向にあります**。また、競争率も一般公募制よりも低いことが多いので、行きたい大学や学部でその枠が設けられていれば狙い目です。しかし、その反面、比較的高い評定平均が要求されるので、普通の学校の勉強がものを言います。以下は最近の専門学科推薦の受験先です。

- ① 徳島大学・工学部 ② 大阪工業大学・工学部 ③ 京都産業大学・経営学部 ④ 摂南大学・法学部 ⑤ 大阪電気通信大学・工学部
⑥ 鳥取大学・工学部 ⑦ 龍谷大学・経営学部 ⑧ 大阪経済大学・経営学部 ⑨ 桃山大学・経済学部 ⑩ 香川大学・工学部

上にはありませんが、近いところでは、近畿大学(経済・経営・生物理工)・同志社大学(理工)・甲南大学(経営・理工)があり、少し遠方ですが、長崎県立大学(経営)もあります。これらの大学の入試科目は、基本的には面接と小論文だけです(理工は口頭試問あり)。早いうちからしっかりと目標を定めて準備すれば、合格も不可能ではありません。みなさんも進学するならこのような入試制度にも関心をもってはいかがでしょう。

2年生はこれから勝負です。**C科の人は専門学科推薦で、全商英検1級を取れば、甲南大学の経営学部を受験できます**。また、**全商推薦という推薦枠もあり、検定試験の結果しだいでチャンスが広がります**。全商1級を目指しがんばりましょう。

また、**看護医療系の推薦入試では、大学だけでなく専門学校でも面接や小論文はもちろん、英語、国語、数学、理科などの筆答試験が課されるところもあります**。2年生は志望校が決まっていなくても普通の授業を大切に、今のうちに基礎力を身につけておいて下さい。以下に、指定校推薦で見事合格を勝ち取った体験談を掲載しますので、大いに参考にしてください。

徳島工業短期大学 自動車工業学科

私は小さい頃からずっと自動車整備士になりたいと思っており、徳島工業短期大学へ行き、自動車について学び、二級整備士の資格を取得するために志望しました。この学校は他校よりも機械の種類が多く、シミュレーターがあったり、ラジコンのコースがあったり、ラリーコースがあったりと、車好きには行く価値大だと思います。私は指定校推薦をもらうことができたので、試験内容は面接と口頭試問でした。口頭試問の対策や、面接練習をして、回数は少なかったですが、きちんと自信をつけることができました。みなさんも、あまり緊張せず、肩の力を抜いて受験を頑張ってください。皆さんが良い結果になることを願っています。

(指定校推薦)

京都外国語大 外国語学部日本語学科

私は日本語教師になる為に大学進学を決意しました。この大学を選んだ理由は主に二つあります。一つ目は、オープンキャンパスを通じて先生の優しく心の籠った授業や外国人観光客の賑わいを体感したことです。二つ目は指定校推薦があった為、しっかり準備したのを見せれば確実に合格できるという事です。私が準備したのは、試験前に提出する志望理由書 800字程度と面接で話す内容です。面接は堅苦しい態度がむしろ似つかわない雰囲気だったため、一言一句覚えるのではなく大体の内容を笑顔で堂々と話すのが良いと思います。第一志望の学校とギリギリまで悩んだ私が言えるのは、自分の本当にしたいことを見つめ直し、それが最終できるなら、どの大学でも、どの仕事でも大丈夫だという事です。

(指定校入試)

3年生向け 進路講話ガイダンス マナー講座

12月18日に多目的室で「**第一印象がUPする、表情の作り方とあいさつ**」、「**社会人をうまく過ごすために 知っておきたいホスピタリティ・マインド**」と題して、(株)ジョイント・プレジャー研修企画部部長の田中智香子さんから講演をして頂いた。

まず、自身の旅行における体験談でホテルの方の対応例から、「初頭効果」「終末効果」などの科学的な効果も教えて頂きながら、第一印象が重要であることを教わった。第一印象で大切な要素は視覚的要素であり、その際、**人はまず見た目で判断することが多い**ので、服装や髪型、臭いなどに気をつけることが大切だそう。お辞儀の仕方の練習を全員で行った後、後半には表情筋を鍛えるトレーニング法も教わった。講演の2部では、高卒就職者の最も多い離職原因が人間関係であること、その解決法として、「**ホスピタリティ・マインド**」をもって接する。簡単には、目配り・気配り・心配りを大切にすることだそう。これは個人の性格ではなく、訓練すれば誰でも身につけられる能力であり、身につけられれば人から信頼され、円滑な人間関係を形成できると教えて頂きました。この講話はこれから社会人となる3年生に向けたものであるが、1、2年生も参考にし日頃の生活の中でのマナー向上に役立ててほしい。

